

# 福島県の漁業復興に向けた取組

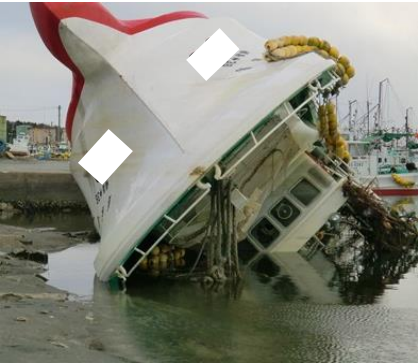
## ① 漁業施設被害と復旧状況

### 漁業施設被害

漁船、漁港などに甚大な被害

(被害額計82,363百万円)

水産庁「平成23年度水産白書」



津波により被災した漁船や市場

### 漁業施設の復旧

漁業施設の復旧は着実に進んでいます。



新しくなった小名浜魚市場

高度衛生管理に対応し、高品質の魚を出荷



新しくなった相馬原釜地方卸売市場、製氷施設、漁船等  
震災前の規模に近づきつつあります

# 福島県の漁業復興に向けた取組

## ② 安全安心のための取組

### 福島県における海産魚介類の検査体制

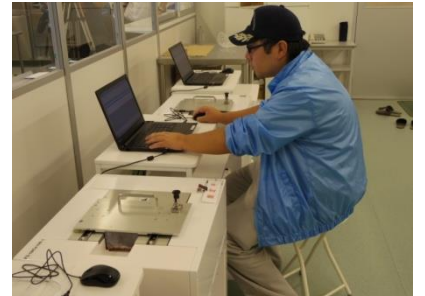
福島県では、県によるモニタリング検査において安全性を確認しています。  
毎週100検体程度、これまでに約7万7千検体の海産魚介類を検査しました(R5.9)。  
令和5年度は検査した検体100%が不検出です。  
現在、出荷制限が指示されている魚種はクロソイ1種のみです。



### 各市場において自主検査を実施

安心のために

- ・ 水揚げ日毎に、各地区で実施
- ・ 25Bq/kgを超えた場合は 県水産海洋研究センター・  
県水産資源研究所にて精密検査



- ◆ 研修を受けた漁協職員が検査
- ◆ 各検査室において、5～8名程度で検査

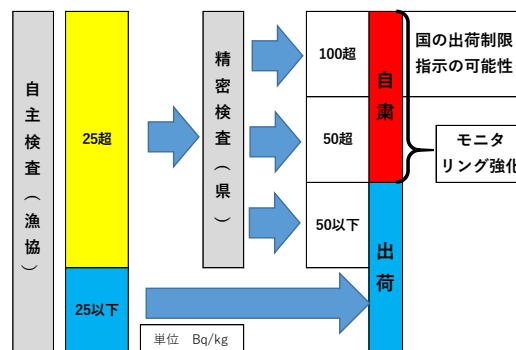


相馬といわきの市場に検査機器を  
設置(相馬6台、いわき6台)



### 出荷方針と自主検査体制

福島県漁連は、100Bq/kg(国の基準値)を超える魚を出荷しないように、より厳しい50Bq/kgを自主基準としています



実際には、  
ほとんど  
不検出

### 水産物のPR活動

漁協や県では、消費者の皆さんに福島県産水産物を安心して食べて頂くために、安全性や美味しさを知ってもらう取組を行っています。



おさかなフェスティバル(会津)



おさかなフェスティバル(相馬)



おさかなフェスティバル(いわき)



大手量販店での常設販売(イメージ)



海鷹祭(東京海洋大)への出展



各省庁食堂に食材提供



公開講座



各種イベントでのPR活動

# 福島県の漁業復興に向けた取組

## ③ 漁業の現状

### 沖合漁業

沿岸から比較的離れた漁場で操業するまき網や棒受網は、原発事故による対象種(カツオ、サバ類、サンマ等)への影響が小さいと考えられたため、震災後も通常の操業が行われてきましたが、福島県への水揚げは、震災前の水準に回復していません。



震災前は、福島県に水揚げされる魚の中では、カツオが数量、金額とも1位でしたが、震災後は非常に少ない状況が続いています。



### 沿岸漁業

原発事故の影響で、沿岸漁業は操業自粛を余儀なくされましたが、小規模な操業・流通を行う**試験操業**に取り組みました。

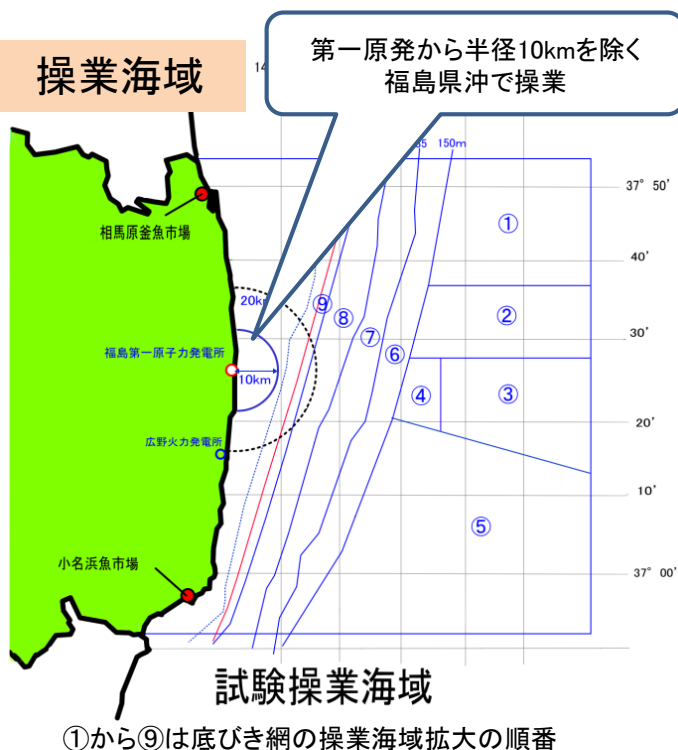
#### 目的

- 出荷先での評価を調査
- 流通・販売を通じて福島県産水産物の安全性をアピール

#### 対象種

県が行ったモニタリング検査により、安全性が確認された魚種に限定  
H24.6月 3種 → H29.3月 97種 → H29.4月～ 出荷制限対象種以外  
(試験操業開始時)

#### 操業海域



対象種、操業海域を拡大しながら水揚げを増大

試験操業は**目的を達成したため、令和3年3月で終了し、新たな段階へ**  
(終了の理由)

- 1 漁港・漁船・市場等が、一定程度復旧
- 2 震災前の**漁法**が、ほぼ操業可能
- 3 福島沖では、震災前とほぼ同じ**漁場**で操業可能
- 4 **放射性物質**がほぼ検出されなくなり、海産魚介類の安全が確保
- 5 **出荷先**がほぼ回復し、市場で一定の評価

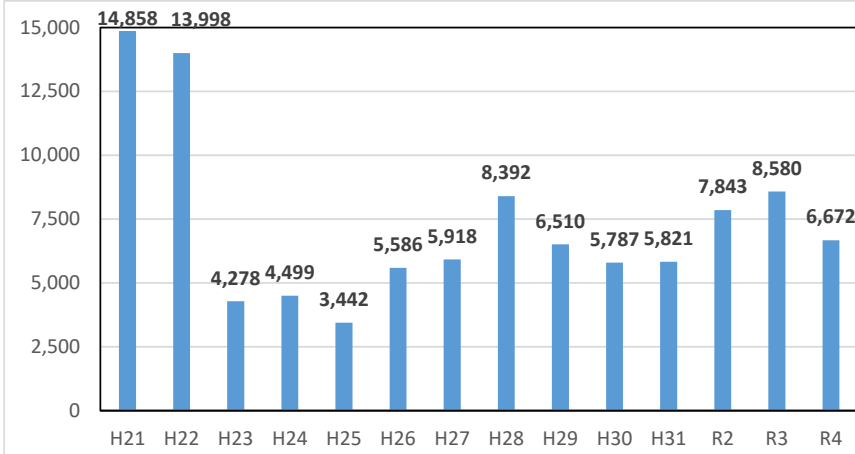


# 福島県の漁業復興に向けた取組

## ④ 本格的な操業再開に向けて

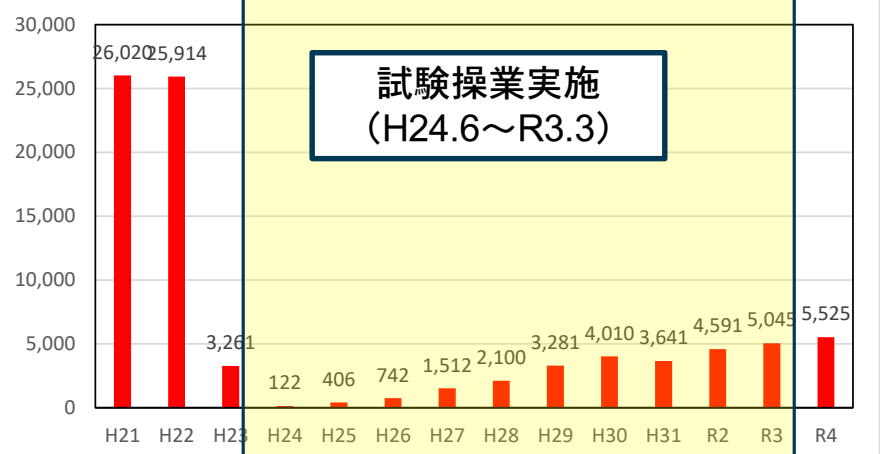
### 水揚量の推移 (単位: トン)

#### 沖合漁業 (まき網、棒受網、かつお一本釣り)



震災前の**5割前後**で推移

#### 沿岸漁業



震災前の**2割程度**に回復

## 今後の課題と対策: 水産業の生産・流通を震災前の水準に!!

県内の沿岸漁業者は、本格的な操業再開に向けたロードマップを作成し、「水揚増大」「流通」等の項目ごとに課題解決を図りながら、漁業の復興に取り組んでいます。

### 水揚増大→新船建造など



### 流通→水産エコラベルの取得など



### 後継者育成→乗船研修など



### ALPS処理水の海洋放出 (R5.8.24) に伴う福島県産水産物への影響

- トリチウム濃度の検査結果は、**全て「検出限界値未満」**です (国が調査、R5.12月末現在)。
- 放出後の**単価に、大きな変化はみられていません。**